



旭川中央地区：樋口農場さんのほ場

特集

旭川市開村120周年記念事業
「北の恵み 食べマルシェ」開催

営農技術情報

女性部レシピ

新入職員農業実習

理事会だより

2010

11

ホクレンSSで! 北海道米で!

ホクレン灯油 家計応援 キャンペーン

2010年10/1(金) ▶ 2011年2/28(月)

ホクレンSSで灯油お買い上げの方、
合計**3,000**名様に当たる!

期間中にご購入いただいたホクレン灯油200ℓ分を1口からご応募ください。

コース	ご購入量	からご応募	賞品	当選者数
Aコース	ご購入量600ℓ(3口)からご応募	現金 10,000 円 キャッシュバック	500名様	
Bコース	ご購入量600ℓ(3口)からご応募	味くらべ北海道三米 プレゼント	500名様	
Cコース	ご購入量200ℓ(1口)からご応募	北海道米「ゆめぴりか」(5kg)プレゼント	1,000名様	

Wチャンス さらに、抽選で北海道米「ななつぼし(5kg)」をプレゼント! 1,000名様

詳しい応募要領は裏面をご覧ください。裏面に応募用紙になっておりますので、ご利用ください。

キャンペーンのお問い合わせは、
ホクレンSS家計応援キャンペーン事務局
0120-617-619

※2010年10月1日(金)～2011年2月28日(月)
※土・日・祝日及び年末年始(2010年12月28日(火)～2011年1月4日(火))を除く平日13:00～19:00
※応募状況、抽選結果に関するお問い合わせはご遠慮ください。

キャンペーン情報やお近くのSS検索は
<http://www.hokuren-ss.jp/>
ホクレンSS 検索

灯油最大 **3**円/ℓ キャンペーン
※2010年9月1日(水)～11月30日(火)

今だけ! IZAカード会員のみなら
ご契約後の2011年2月まで
(上限300ℓ/月まで)
2円/ℓ キャンペーン
※サインレス購入新規で契約

さらに! IZAカード新規に契約のみなら
入会初年度1年間のみ
(上限300ℓ/月まで)
1円/ℓ キャンペーン
※入金特典

詳しくは、店頭またはホームページで! URL <http://www.hokuren-ss.jp/>

旭川市開村120周年記念事業 「北の恵み 食べマルシェ」開催

10月9日(土)・11日(月)の3日間、旭川市旭川市中心部に巨大市場を開き、旭川市から買物公園などを経て常盤公園まで総延長1.6キロに約200のテントが出店、開催期間の来場者は延べ79万2千人にのぼった。買物公園通りではJAあさひかわの特産品、米粉製品をはじめ、旭川中央女性部のヘチマ水、JAあさひかわ青年部のボン菓子、直売米研究所協議会による新米を、常盤公園会場ではトラク協会のブースを用いて農産物直売所あさがおの新鮮野菜も販売し、大賑わいの入出の中好調な販売を行っていた。特に青年部のボン菓子販売においては、ドーンと大きな音をたててボン菓子が出来るたびにお客さんが長蛇の列、休憩を暇もたず青年部員はボン菓子作りにも励んでいた。

今年から新たに取引組んでいる、あさひかわ産の米粉を使用した関連商品の人気も上々、米粉パンを販売、試食提供し、もちもちしていて甘く美味し、と絶賛、米粉を用いたシュークリーム、ロールケーキも同様に人気で、消費者の農産加工品に対する意識の高まりを実感、各出店テントとも大盛況の内に終了した。



JAあさひかわ

JAあさひかわ11月号
2010 VOL.53

11

目次

特集

旭川市開村120周年記念事業
「北の恵み 食べマルシェ」開催

1	
5	営農技術情報
6	女性部レシビ
7	新入職員農業実習
10	理事会だより



青年部のボン菓子も大忙し



海外からも多数の来賓が



まずは御試食どうぞ



開催時間前、準備は万端です



商品を求める人で一杯です



新米注文あがりがすごいです



ごらの行列でボン菓子製作に間に合いません



大賑わいのメインストリート

旭川中央基幹支所管内5地区対抗パークゴルフ大会

今年で5回目となる旭川中央基幹支所管内5地区対抗パークゴルフ大会が連日の猛暑の中、8月19日(木)好天に恵まれ盛大に開催された。

今年度は、近文クラブ友の会(会長 内澤 善信 会員数63名)、神楽年金友の会(会長 坂本 幸雄 会員数232名)、さつき年金友の会(会長 荒井 邦夫 会員数165名)、貸家協議会(会長 松田 繁 会員数160名)など全4地区からの参加となった。



会場の「パークランド嵐山」では、澄み切った青空のもと、村井理事の開会宣言と準備体操のあと、参加者77名(男性44名、女性33名)が交流を深めながら20グループに分かれて日頃の練習の成果を競い、猛暑にも負けぬ熱いプレーが繰り広げられ、ハイレベルな戦いとなった。

団体戦は、各地区上位8名のスコア合計で競った結果、平均的に上位を占めていたさつき年金友の会が今年も優勝し、3連覇という偉業を成し遂げた。また個人戦では、林 茂光さん(近文クラブ友の会)、鈴木 利子さん(近文クラブ友の会)がそれぞれ優勝した。

今回は、2名の方がホールインワンを出すなど好プレー、好スコアが続出し、互いに来年の再会と健闘を誓い合い解散した。昨今、手軽にできるパークゴルフは、健康志向に対する関心が高まるなか、一大ブームになっており、毎年元気に笑顔で再会し交流を深めることが期待される。

パークゴルフ大会と花鑑賞研修 神居基幹支所年金友の会

神居年金友の会(会長 北原 勲 会員220名)として、初めて開催するパークゴルフ大会・花鑑賞研修が、去る8月25日(水)日帰りの日程で会員31名の参加により実施された。当日は、午前8時30分に、職員に見送られ神居金鑑支所を出発し、上富良野のパークゴルフ場に到着。競技参加者23名が6班に分かれ日ごろの腕前を披露し、自然したプレーを展開。プレーをしながら参加者は、富良野観光を楽しんだ。

その後、富良野ラテールで北原会長の挨拶後、昼食会がはじまり、そのなかでパークゴルフの成績発表を行い、大いに盛り上がり楽しい会となり、多くの参加者がゆつくりと温泉につかり疲れを十分に癒した。その後ラテールを出て、美瑛の四季彩の丘に寄り、見事な色と美しい花を満喫。午後5時頃、

各地区を回り帰路に着いた。

参加者は、天候に恵まれ行先もよかった事もあり、終始笑顔で満足した表情で、事故もなく大変有意義な研修となった。



北野支所年金友の会秋の保養

北野支所年金友の会(会長・沢口 哲、会員116名)は、10月5日(火)から1泊2日の日程で30名の参加者により、十勝



川温泉「観月苑」にて秋の保養を行った。

出発時にはあいにくの雨模様となり、現地での天候が心配されたが、帯広市に近づくにつれ雨もやみ、観光で訪れた市内の「真鍋庭園」では24,000坪の広大な庭を晴天のなか、回遊して楽しむことができた。

ホテルの温泉は「美人の湯」といわれる世界的にも珍しい「モール温泉」で、肌にも良く女性にはもちろん男性陣にも好評であった。夜には宴会で食事とお酒を楽しみながら、恒例のカラオケ大会で大いに盛り上がり、楽しい時間を共有しながら日頃の疲れを癒し、翌日には三國峠の紅葉する山々を眺めながら無事帰路に着いた。

永山年金友の会 パークゴルフ大会

永山年金友の会(会長・杉山 令吉、会員数220名)は、10月12日(火)に今年で第6回目となるパークゴルフ大会を参加18名により、東神楽14号河川敷パークゴルフ場にて開催した。

当日は天気心配されたが、時間が経つにつれて最高のコンディションとなり、ホールインワンが3回も飛び出すという事務局にとっては予定外?のレベルの高い白熱したプレーが繰り広げられた。

その中で優勝したのは、今年度より初参加の三宅政一さん。見事、優勝カップと記念品を手にした。参加者は、来年こそ優

勝カップを手にするぞと誓い、パークゴルフ大会の更なる発展とともに、次回大会への決意を新にしていた。



9月18日(土)・19日(日)の2日間、農産物直売所「あさがお」永山店・江丹別そば処「穂の香」永山店において、「新米・新そばまつり」を開催した。

毎年恒例、すっかり定着した感があるイベントとあって、開店と同時にたくさんの来店者で賑わった。

例年、店内が大混雑となるため、「平成22年産あさひかわ米はしのゆめ(Yes!Clean米)試食・販売コーナー」を、あさがお入口横に設置し混雑緩和を試みたが、新そばはもちろん新鮮野菜も大変な人気で、開店から1時間は2台あるレジのどちらも行行列が途切れることはなかった。



「穂の香」では、江丹別産新そばと新米のおにぎりのセットを販売し、新そばの風味を堪能した来店者は大人も子供も大満足の様子であった。また、多目的ホールでは、「そば打ち同好会」の会長をはじめとした有志一同が熟練の技でそば打ちを披露し、来店者の目を釘付けにしていた。



道内各地で様々な「食のイベント」が開催されていた時期でもあり、天候の影響もあって、例年の2倍を売上げた前年には及ばなかったが、2日間で1,000食以上を売上げた。

オープンより5年目を迎えた「あさがお」・「穂の香」。さらなる地域交流・JAあさひかわ産農産物のアピールを狙い、消費者への発信を続けていく。

平成22年産米初出荷

平成22年産米の出荷は、9月6日(月)からはじまった。今年は、6月から7月にかけての高温によって水稻の生育は進み、平年に比べ収穫時期が大幅に早まることとなった。所前検査においては、今年も全地区1等米出荷であった。

ライスターミナル前検査場



永山中田 義美さん、はしのゆめ



永山真鍋 正一さん、はしのゆめ



神居 一宮 敏昭さん、ゆめのみか

上川ライスターミナル

秋まき小麦～雪腐病の防除について～

1 防除薬剤

管内の雪腐病は褐色小粒菌核病の発生が多く、褐色雪腐病、紅色雪腐病の発生も見られます。雪腐病の種類によって使用する薬剤が異なるので、発生する病害に合わせて薬剤を選びましょう。

雪腐病(病原菌)の種類と薬剤の効果 (凡例:○効果が高い、○効果があまる)

	リゾレックスベランフロアブル	バシタックペランフロアブル水和剤
紅色雪腐病	○	○
雪腐褐色小粒菌核病	○	○
雪腐褐色小粒菌核病	○	○

(注)褐色雪腐病は透水性の悪い水場でも発生するので、特に注意します。

2 防除方法

	薬 剤 名	希釈倍率	10a当り薬量	使用基準
ブーム等地上散布	リゾレックスベランフロアブル	500～750倍	200～133ml	2回
	バシタックペランフロアブル	400倍	250g	2回
空中散布(液量0.8a/10a)	リゾレックスベランフロアブル	6倍	133ml	2回
	バシタックペランフロアブル	6倍	133ml	2回
粉 剤	リゾレックスベランフロアブルDL	—	3kg	2回
	バシタックペランフロアブルDL	—	3kg	2回

3 防除時期

根雪直前(11月中旬)

散布後に多量の降雨(20mm以上)があった場合や根雪までの期間が長すぎる場合(30日以上)は、使用基準の範囲内で再散布を行います。

は雪が溶けたら水場や排水した水場では越冬性が低下するので、融雪促進や排水改善対策(溝切りによる表面水排除)を積極的に行いましょう。

ハウス野菜の土壌病害対策～バスマミド(ガスター)微粒剤～「秋処理」と「根雪前処理」の実施

上川農業改良普及センターでは、ハウス野菜で問題となっている土壌病害(萎ちょう病)を回避する新しい「防除体系として、バスマミド(ガスター)と微粒剤による「秋処理」と「根雪前処理」の効果を確認しました。
本薬剤に登録のある作物で、萎ちょう病による減収が著しい場合は本防除法を実施し、翌年の栽培に備えましょう。

【バスマミド微粒剤の特徴】

- 微粒剤の製剤で、凝和後にゆっくりガス化するため、急速に揮散性のガスにさらされることなく作業できる。
- 広範囲の土壌病害、センチュウ、根腐病に有効である。
- 気候風情がほとんどないため、気候がよければ施設や設備を備えることがない。
- 微粒剤のため、散粒機や手(ゴム手袋着用)で簡単に散布できる。

【秋処理・根雪前処理のメリット】

- ①年間の作付け終了時に処理する。夏処理のように処理期間中の作付けを休止する必要がない。
- ②翌年は、病原菌が減少した状態で作付けを開始できるため、春～秋にかけての作付け期間中、病害による減収を回避することができ。

＜秋処理・根雪前処理の注意事項＞

- ①防除効果を高めるため、薬剤施用前には作物残さや土を撤出しておく、たい肥を施用する場合は、薬剤施用の1週間前までに2,000kg/10a程度に留める。
- ②薬剤施用時の土壌水分は、乾って固まる程度が最適で、過度に乾燥している場合は軽くかん水、水分が落ちた後に実施する。
- ③土壌中の薬剤(ガス化)を保持するため、ビニール被覆は薬剤施用後～根雪までの間実施するか、翌春の作業性を考慮し、撤去が始め頃に被覆したビニールを除去する。
- ④翌春の作付け開始時は、十分な耕起(2度掛け)を行い、ガス抜きを確実に行う。特に1月～2月の作付け時は雪害防止のため、急入りへ耕起する。

表 土壌消毒・各種作業の流れ ※根雪直前：年により時期が異なるので各自の判断で実施。

月	9月			10月			11月			12月～1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
秋処理			残さ処理 薬剤施用			古ビニール被覆撤去 (9月上旬～11月中旬)			根雪直前に ビニール撤去			越冬(積雪下)			作付け準備 ガス抜き			作付け
根雪前処理						作付け			残さ 処理			根雪直前に 薬剤施用			越冬(積雪下)			作付け準備 ガス抜き

水 稲

1 生育経過について

(1)は種・活着

稲の遅れや低温によっては種は2日遅れ、出芽は4日遅れとなりました。融雪の遅れとともに、春耕期の降雨によって耕起・かき作業が遅れ、移植作業が平均より4日遅(5月26日)となりました。移植期間は気象変動が激しく5月24日以前に移植したものは活着は良好でしたが、5月29日の低温により一部は活着率は低く見られ、きつて6月6日の日遅れとなりました。

(2)初期生育、幼穂形成期～出穂期

6月2日以後の高温・多雨により生育は良好に進みましたが、下位分げつが少なく高位節位数が多く、伸向でした。また、7月上旬には一部で早期異常出穂が見られました。幼穂形成期はさらに39.7℃で2日、出穂期は7日早まりました。6月から7月にかけての高温によって主穂の長が早まり、穂粒数は9日間となりました。

(3)登熟期間

7月1日頃の曇天や断続的な降雨や、いちもの好適条件と降雨による防除の遅れなどから、いちものが散見されました。8月以降も高温に恵まれ登熟状況は良好でした。

2 病害虫の発生状況

(1)ネドロイムシ・ヤやみい発生となり、育苗期の防除に加え本田防除を実施した地域がありました。

(2)フタオビヤマイ・ヤやみい発生で、被害は確認されました。

(3)アザミとヤマイヤマイの発生は昨年並みで、高温により被害が増加する懸念がありましたが、被害は極小に留まっています。

(4)いちもん発生となりました。減収に至った例もあり、本年度の対策を万全にすることが求められる結果となりました。

3 収量・品質について

収量は昨年を下回り、9月15日発表の上川管内の作付指数は9.7(やや不良)となりました。品質は一部で高温多湿による乳白・腹白が発生していますが、調整作業により品質が維持されています。また、白質は高、商品質(特に低蛋白白)は極めて少ない状況です。

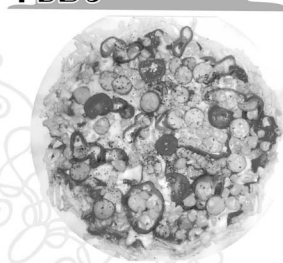
4 次年度に向けて

収穫後のほ場管理(透排水性改善・稲わら処理)は近年になく実施されています。作業が遅れて、ほ場は早急に実施してください。いちもの発生が見られたほ場においては育苗期の防除や、水面施用剤による防除(6月下旬)が有効です。また、施肥量や施肥方法、施肥時期についても是非検討してください。



JOSEPH RECOMMEND RECIPE

イモピザ



材料

ジャガイモ(キタアカリが良い)	250g	調味料
ピザ用チーズ	40g	塩
ウインナーソーセージ	2本	ピザソース(クチャッポ)
とうもろこし	40g	小豆
ピーマン	1/2個	油
ミニトマト	1個	

作り方

- ① ジャガイモを3mmの薄切り切る。
- ② 切ったジャガイモに小麦粉と塩少々を入れて混ぜる。
- ③ フライパンに油を入れ、次にジャガイモを入れたてで焼く。
- ④ ③の両面に焼けたら、ピザソースを塗り、チーズソーセージ・ピーマン・とうもろこし・ミニトマトなどをきりジャガイモカリカリに焼けたら出来上がり。

わくわく農感塾

9月25日(土)、JAあさひかわ企
画の「わくわく農感塾」を開催した。今
回は、5月に実施された「稲刈り」の
続きの「収穫編」。41名(大人21名、
小学生以下20名)が参加した。



札幌を早朝に出発し、直売所「あさがお」に到着。開校式、
水口専務からの挨拶で収穫編のスタート。今回は、5月の
田植えとじゃがいもの植え付けを引き継いだツアー。まずは
永山地区の山川さん宅へ、ほしのゆめの稲刈りに出発。

慣れない手つきながら、自分達で植えた稲穂を一生懸命に刈り取った。そして束ねたものをほしに掛ける
ところで作業は終了。その後、山川さんから白米になる
迄の作業工程の説明をしてもらい、参加者全員にほし
のゆめ1kgがプレゼントされた。



お昼は、自分達で打った江丹別産新そば、新米のほしのゆ
めで握ったおにぎりをいただく。まさに食欲の秋にピッタ
リのメニュー♪

午後から永山地区の田村さん宅でじゃがいもの収穫体
験。田村さんから、いもの掘り方、今年の生育状況など
の説明を受け、いざ実践。大きいのがあったという歓
声も。収穫したじゃがいもはお土産にいただいた♪



全ての作業を終えた一行は「あさがお」で閉
校式。直売所「あさがお」では新鮮な!と沢
山お買い物をし、笑顔で帰路についた。新
米・新じゃが・新鮮野菜をお土産に...

新入職員農業実習

今年度入組した15名の新入職員を対象に9月6日
(月)から10月15日(金)までの期間で農業実習を
実施した。

研修期間は1週間で、農協職員として農業の大切
さや苦労を身をもって経験することを目的に実施さ
れているもの。

各地区の組合員さん宅において、実際に農産物
の収穫作業や家畜の世話などの農作業を体験し、
一緒に汗を流し労働した。

実習先等は以下の通り。

氏名	所属部署	実習先(敬称略)	
		組合員氏名	地区
① 松本 亜美	旭正金融支所貯金共済課係	長田 行雄	旭正地区
② 吉岡 真弓	豊岡金融支所職員相談係	長田 忠雄	旭正地区
③ 滝川 大	経済部農産課係	白鳥 隆志	永山地区
④ 稲葉 雄哉	経済部米穀課係	田村 文男	永山地区
⑤ 荒屋敷 るみ	管理部経営管理課係	千代 圭	永山地区
⑥ 山本 朋佳	旭川中央金融支所貯金共済課係	葉天市 太郎	旭川中央地区
⑦ 菅井 優香	北部金融支所貯金共済課係	葉天市 太郎	旭川中央地区
⑧ 青木 文香	神楽金融支所貯金共済課係	市川 彰男	旭川中央地区
⑨ 佐々木 弥南	神居金融支所貯金共済課係	佐藤 慎二	神居地区
⑩ 日野原聖也	経済部青果課係	山崎 賢治	神居地区
⑪ 信太 健太	経済部畜産課係(畜産部畜産課)	島山 守穂	神居地区
⑫ 菊池 将徳	北野営農センター係	東出 明男	北野地区
⑬ 宮本 一輝	北野金融支所貯金共済課係	今井 英夫	北野地区
⑭ 矢田紗耶佳	北野金融支所貯金共済課係	山崎 勇雄	北野地区
⑮ 秋葉 玲奈	春光金融支所貯金共済課係	鈴木 英博	北野地区



理事|会|なり|

第8回理事会 平成22年8月30日(月)

- 協議事項**
1. 平成22年度7月末に於ける事業実績(子会社含む)及び決算(子会社含む)の状況について
 2. 理事に対する資金の貸付について
 3. 大口貸付について
 4. 平成22年度農地の時価評価額について
 5. 新規需要米の販売手数料について
 6. 平成22年度米出荷取扱方針について

- 報告事項**
1. 通による農業協同組合検査指導事項について
 2. 内部監査の実施報告について
 3. 経営定期点検実施報告について
 4. 地区内営業状況について
 5. 上川ラスタミナル搬入運賃助成について
 6. 平成22年度「ゆめぴりか」出荷体制及び「飯米」の取扱について
 7. 農産物直売所「あさがお」神楽店固定資産及び備品等導入明細について
 8. 平成22年度あさひかわ産新そば試食販売会「あさがお」神楽店及び新米・江丹別産新そばまつり「あさがお」永山店の開催について
 9. 延滞債権について
 10. 組合員懇談会意見の回答について
 11. 平成22年度第3四半期剰余金運用方針及びリスク情報について
 12. 組合員の加入及び脱退の状況について
 13. 系統連合会の出資配当及び事業削減状況について
 14. 系統外預金状況について
 15. 不祥事件等の概要について
 16. その他

第9回理事会 平成22年9月27日(月)

- 協議事項**
1. 平成22年度8月末に於ける事業実績(子会社含む)及び決算(子会社含む)の状況について
 2. 監事による随時監査の回答について
 3. 大口貸付について
 4. ティスクローシャー誌(半年間)について
 5. 規程類の制定及び全面・一部変更について
 6. 寒冷地手当の支給について

- 報告事項**
1. 中間監査の実施報告について
 2. 内部監査の実施報告について
 3. 全国農業協同組合中央会による財務諸表等監査(期中監査)の実施について
 4. 地区内営業状況について
 5. 平成22年度米出荷状況について
 6. 北野地区国営農地再編整備事業の経過について
 7. 平成21年度自己査定(正常・先・要注先)結果について
 8. 規程類の制定及び一部変更について
 9. 独占禁止法の遵守に係る全道一斉点検結果について
 10. 人事異動について
 11. その他

第10回理事会 平成22年9月27日(月)

- 協議事項**
1. 通による農業協同組合検査指導事項の改善・対応状況について

職員の異動

【退職】お世話になりました

日付 職責氏名 役職
9.30 審議役 板谷 芳男 経済部長
係 宮越 彩 東光金融支所係

【採用】よろしくお願いします

日付 職責氏名 役職
10.1 準職員 板谷 芳男 経済部長(2年退職者再雇用)

おくりこみ
おくりこみ
おくりこみ

8/2	仁藤 茂さん	旭正地区忠別3農事組合
8/3	板板 善松さん	旭正地区共栄3農事組合
8/5	宗万 勇さん	旭川中央地区神楽農事組合
8/6	遠藤 繁さん	旭川中央地区信友(北野)農事組合
8/8	板垣 猛さん	永山地区12区新生農事組合
	木村 義光さん	旭正地区忠別1農事組合
	佐竹キヨ子さん	旭正地区忠別6農事組合
8/14	谷口 和子さん	永山地区永山15区西農事組合
8/16	高内 良昭さん	永山地区永山10区1組農事組合
	佐々木ヨシエさん	旭川中央地区その他農事組合
8/24	中瀬エミ子さん	永山地区永山13区2組農事組合
9/1	木下 弘一さん	北野地区天満町会農事組合
	木村 治男さん	旭正地区東部農事組合
9/10	櫻岡 勝蔵さん	旭川中央地区新北門農事組合
9/14	國本 宗一さん	永山地区13区農事組合
9/21	永井 清さん	永山地区10区2組農事組合
9/26	酒井 深さん	旭正地区その他農事組合

営業時間のご案内		平日営業時間	土曜日営業時間	日・祭日営業時間
本所 経済部				
旭正営業センター		11月~3月 9:00~17:00	11月~3月 休業	休業
永山営業センター				
神楽営業センター				
神居営業センター				
北野営業センター				
江丹別支所(購買事業)				
西神居支所(購買事業)				
給油所				
豊岡給油所		6:00~22:00	6:00~22:00	6:00~22:00
神楽給油所		6:00~22:00	6:00~22:00	6:00~22:00
永山給油所		8:00~19:00	8:00~19:00	8:30~18:30
神居給油所		8:00~19:00	8:00~19:00	8:30~18:30
北野給油所		8:00~19:00	8:00~19:00	8:30~18:00
旭正給油所		8:00~18:00	8:00~18:00	8:30~17:30
江丹別支所(給油事業)		9:00~17:00	9:00~12:00	休業
西神居支所(給油事業)		9:00~17:00	9:00~12:00	休業
江丹別そばの里		11月~3月 11:00~16:00	木曜日定休日	

JAあさひかわ (平成22年9月末実績)	組合員数	正組合員 2,462 名 准組合員 26,273 名 合 計 28,735 名
	出資金残高	1,955 百万円
	販売取扱高	2,708 百万円
	生産資材供給高	1,304 百万円
	給油所供給高	1,230 百万円
	生活供給高	266 百万円
	貯金残高	97,999 百万円
	融資残高	18,453 百万円
	長期共済保有高	1,972 億円

第51回全道JA野球大会において 4年連続優勝を達成!!

第51回全道JA野球大会が9月8日(水)から江別市の道立野幌総合運動公園野球場において開催され、上川地区からは、昨年度本大会優勝の当組合とJA北ひびきの2チームが出場し、道内各地区の予選を勝ち抜いた11チームが2日間にわたり熱戦を繰り広げた。

準決勝戦では、2回戦において5:1でJA北ひびきを下した後志地区代表のJAようていと対戦し、4:0の完封勝ちで決勝戦に駒を進めた。

決勝戦においては、準決勝戦で十勝地区代表のJAめむろを10:0の5回コールド勝ちで下した石狩地区代表のJA道央と対戦したが、投手の好投に加え、6安打と各選手の手堅い守備により2:0で完封勝ちし、4年連続4回目の優勝を決めた。本大会の優勝旗と優勝カップの他、知事杯・日本農業新聞杯・家光協会杯・北農健保組合杯も同時受賞となった。

また、個人表彰では、梶友憲君(永山金融支所)が最優秀選手賞、小原綾太君(経済部購買課)が敢闘賞、菊地将徳君(北野営農センター)が打撃賞、角井修監督(金融共済部共済推進課)が勝利監督賞をそれぞれ受賞した。



『10産産業展』にJAあさひかわ出展 ～東京ビックサイト西4ホールにて

東京ビックサイトにて9月28日(火)から30日(木)の3日間、「健康食が未来を拓く」のテーマのもと、産産業展実行委員会(委員長 鶴岡 良平・伊藤 毅)主催の『10産産業展』が開催され、JAあさひかわが出展した。

会期3日間のうち2日間は雨天のため、103社の出展協力会社とともに、8,562名の来場者及び、麵店・中華料理店をはじめとする関連業界との交流と自社商品のPRを行った。

当JAでは、JAあさひかわ産のお米・加工品・青果物等をブースに並び、多くの来場者に販売と商品のPRを行い、盛會裡に終了した。

